



長襦袢の着方



1



長襦袢を背中にまわして、半衿先あたりを持ち構える。

2



右肩、左肩の順にしっかりと肩に掛ける。

3



左手で下前の半衿先を持ち、右手を袖に通す。

4



上前も上記同様に袖を通す。

7



上前のバスト下を左手で押さえ、右手で腰紐の真ん中を持つ。

8



腰紐を、上前を押さええている左手の所(バスト下)に当て、後ろで交差させて結ぶ。

5



両衿先の長さを揃え、背中心を合わせる。片手で半衿先を、もう一方で背中心を持ち、衣紋を抜く。

6



半衿先を持って、下前、上前の順に衿を合わせる。

10



伊達袂を後ろで交差させて、前で2回からげて処理をする。

11



後身頃の身八つ口に親指を引っ掛け、背中の皺を左右へ。

12



伊達袂の下で衿肩あきの下を両手でぐっと引き、背中のたるみをしっかりと取る。

13



下前、上前の順に、衿元を押さえながら衿先を引き、胸元のたるみを取る。

14



完成♪

※個人、流派等により着方・道具が異なる場合がございます。